

第36回

ICTワーク シヨツプ。

スマート社会に向けた取り組み

エネルギー事業とまちづくり（産業創生）事業の一体化、対話システムを用いた介護施設向け見守りロボット、IoTを用いたモニタリング技術、AIを用いた生産現場の効率向上、XR技術を用いた訓練・教育、生成AIを用いた取り組み

2024 **2/15**(木) 16:00~17:40

(100周年記念ホール及びオンライン同時配信)



要申込

詳しくはこちら

交流会(参加費1000円,ただし学生は無料)を実施します。
対面および交流会は先着35名様に限らせていただきます。(2/9締切)
オンライン参加は定員はありません。(当日12:00締切)



国立大学法人
電気通信大学
The University of Electro-Communications

主催：国立大学法人電気通信大学
後援：一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）
企画：産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門

プログラム

「IPEG（インフォパワードエネルギーグリッド） 推進コンソーシアムの目的とその方向性」

内野 善之 客員教授

(i-PERC (i-パワードエネルギー・システム研究センター))

IPEG推進コンソーシアムは各地域にてエネルギートランジションのトリガーとなる拠点開発型プロジェクトの推進、そして、実現へのシナリオを描くことを目的に去る7月に設立されました。本講演では、エネルギー事業とまちづくり（産業創生）事業の一体化を理念とした産官学連携による活動内容ならびに今後の方向性についてご紹介致します。

「対話システムの課題と高齢者見守りロボットへの 応用」

沼尾 雅之 教授

(アイケアディーエックス合同会社 CEO ・ 情報理工学研究科 教授)

ChatGPTなどの大規模言語モデル (LLM) の登場により、対話システムは大きな進歩をとげました。質疑応答だけではなく日常会話などにも柔軟に対応できる一方で、幻覚(Hallucination)と呼ばれる誤情報の生成や珍回答をすることも知られています。

本講演では、事前学習モデルであるLLMを介護ドメインと見守りタスクにカスタマイズすることにより、介護施設などで役にたつ見守りロボットへの応用するための 技術的課題と解決法についてご紹介致します。

「未来を拓く！

日立システムズの産業DX研究開発と舞台裏」

田代 卓 氏

(株式会社日立システムズ 業務役員 CTO (兼)研究開発本部長)

日立システムズの研究開発本部が取り組んでいる産業領域でのDX関連の研究開発事例をご紹介します。IoTを用いたモニタリング技術やAIを用いた生産現場の効率向上の取り組み、XR技術を用いた訓練仕掛け、そして今話題の生成AIを用いた取り組みについてもご紹介予定です。企業における研究開発部隊はニーズとシーズのギャップ、事業と研究の文化や組織のギャップに悪戦苦闘しながら新サービスの開発を推進しています。そうした悩みも赤裸々に語ります。是非一緒にご議論を！

「運営支援部門からのお知らせ」

UECアライアンスセンター運営支援部門